



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 近畿技術事務所	配布日時	平成26年6月10日 14時00分
資料配付		

件名	～産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく～ 新都市社会技術融合創造研究会 <b>新規研究プロジェクトを募集します。</b>
----	---

概要	<p>近畿地方整備局の参画する、新都市社会技術融合創造研究会は、社会資本の整備、維持、管理に関わる技術の普及を目的として、産・学・官の連携・協力によって取り組む技術研究プロジェクトを募集します。</p> <p>●研究テーマ 「橋梁の点検技術の効率化・高度化に関する研究」</p> <p>●応募期限 平成26年7月4日（金）</p>
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-----------------------

問合せ先	近畿地方整備局 近畿技術事務所 副所長 杉若 武 技術情報管理官 日下 慎二 電話 072-856-1941（代表）
------	---

# 新都市社会技術融合創造研究会 新規プロジェクトの募集について

## 1. 本会の主旨及び目的

本会は、社会資本の整備、維持・管理に関わる産・学・官の連携・協力による新しい技術の研究、普及等に関する事業を行い、もって都市再生と地域圏による経済活力の回復に貢献し、国民生活の質の向上、安全で安心できる暮らしの確保、環境の保全・創出に寄与することを目的とします。

なお、本会は、産学官から構成されるプロジェクト選定・評価委員会とテクニカルアドバイザーを通じて、研究を実施するプロジェクトチームの活動が円滑に行われるよう、ニーズのマッチングやフィールドの提供、運営等について助言し、支援を行うものです。(研究費補助等の財政面での支援を行う趣旨ではありません)

## 2. 応募資格

本会の主旨に賛同し、研究テーマに興味・意欲をもって、積極的に研究活動に参画できる個人・組織とします。

## 3. 研究テーマ

### (1) 近畿地方整備局の求める研究テーマ

下記のテーマについて募集を行います。

「橋梁の点検技術の効率化・高度化に関する研究」

(研究内容の例)

- ・コンクリートのひびわれ・うき、鋼橋の亀裂・腐食等について、近接目視点検と同等の精度を確保する点検手法の開発
- ・点検のための仮設足場設置方法の効率化や仮設足場を必要としない点検手法の開発
- ・既存の橋梁点検車両の改良による点検の効率化

### (2) 自由テーマ

本会では、上記のテーマ以外に、自由テーマを募集します。新しい技術開発に関連するものであれば、積極的にプロジェクトチーム活動を支援し、今後の取り組みテーマとして検討する予定ですので、積極的なご応募を期待しております。

## 4. 審査結果のお知らせ

プロジェクト選定・評価委員会において、研究内容とプロジェクトチーム設置について審査のうえ、審査結果をお知らせします。

※産及び学からの応募があり、研究内容がマッチングする場合に採択となります。

## 5. 応募期限

平成26年7月4日(金)

※自由テーマについては期限を設けておりません。

## 6. 応募方法・応募用紙

応募用紙(標準はA4サイズ)に必要事項を記入し、下記事務局宛にメール又は郵送願います。なお、質問のある場合は連絡先記入の上、任意の様式でメール又はFAXにてお問い合わせ下さい。

宛先 国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所 新都市社会技術融合創造研究会事務局  
住所 〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11-1  
TEL 072-856-1941(代表) FAX 072-868-5613 E-mail: ls-gijyu02@kkr.mlit.go.jp

※詳しい内容につきましては、近畿地方整備局の新都市社会技術融合創造研究会HPをご覧ください。(下記URL)

<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/index.html>

## 研究テーマ 応募用紙

<p>1. 代表者等</p> <p>組織名：</p> <p>代表者：</p>
<p>2. 代表者の連絡先</p> <p>住所：</p> <p>電話・FAX 番号：</p> <p>e-mail：</p>
<p>3. 研究テーマ</p>
<p>4. 研究方針（取り組みの考え方、特に提供できる内容、取り組み）</p>
<p>5. 研究概要（研究項目、研究の実施体制等、現段階で想定できる範囲でお示ください。）</p>

6. 研究の特徴（研究内容の独創性、先導性、他との違いをアピール、申請予定あるいは取得した特許、関連する論文等を記述）

7. 研究により期待される具体的な成果

9. 年度毎の研究内容（研究期間は、平成26年度から原則として1～3年とします。）

年 度	研 究 内 容
平成26年度	
平成27年度	
平成28年度	

10. その他